



教育目標

○よく考え 進んで実行する子 ○自他を大切にし 協力しあう子 ○強い体や心を持ち 仕事に励む子

年度の重点

心を耕し、心をつなげ、未来に向かってススム・ヒロノ～たくましく学びに向かう力の育成

豊かな心を育てる教育課程のマネジメント

道徳の質的転換 キャリア教育の推進 いじめ防止の組織

健やかな体をつくる教育課程のマネジメント

「体チャレンジ」のデータ活用と継続 災害への訓練や対応 食育の推進 エリアファミリーの充実

期

平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 7 月 24 日

実態

「豊かな心の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

あいさつ・返事	思いやりの心を育む指導の充実	仲間づくりの充実
児童: 3.72↓ 保護者: 3.25↓ 学校: 2.88↓	児童: 3.79↑ 保護者: 3.55↓ 学校: 3.13↑	児童: 3.85↑ 保護者: 3.52↓ 学校: 3.25↓
■全員で挨拶をする場面はもちろん、お客さんへのあいさつなど、場面に合わせた指導が必要である。	■高学年の下級生に対する優しさや、対応が素晴らしい。上級生をお手本にするという良き風土をさらに充実させたい。	■人数は少ないが、学級に対する所属感などをツールを活用して把握するなど、生徒指導を充実する必要がある。

「健やかな体の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

よい姿勢	新体力テスト									
児童: 3.31↓ 保護者: 3.45↓ 学校: 2.88↓		握力	上体	長座	反復	シャ	50m	立幅	ソフ	8種平均
	全校男子平均	6.1	7.6	5.0	7.6	6.4	5.1	5.0	5.7	6.0
	全校女子平均	5.2	7.3	5.2	7.1	6.0	4.3	4.6	5.4	5.6
■定着の意識が低いようである。指導方法や内容について、大きな改善が必要である。	■男女とも、反復横跳び、上体起こしの得点が高い。どちらの種目もバドミントンの運動特性に関わる部分も多いと考える。 ■男女とも、長座体前屈と50m走、立ち幅跳びの得点が高い									

改善の方策

日常指導・授業等の充実

- あいさつ、返事、後片付けの指導を徹底します。
- 思いやりの心や規範意識、命を大切にす豊かな心を育てます。

家庭・地域との連携

- あいさつについて、保護者に啓発します。
- 保護者との情報交換を密にします。

日常指導・授業等の充実

- 体育の授業において、ストレッチ運動を取り入れます。
- 立腰の定着に向けて、1日1回声かけをします。

家庭・地域との連携

- 早寝・早起き・朝ご飯について、保護者に啓発します。
- 保育所、中学校と連携し、エリアファミリーを機能させて、八広の日の取組を充実させます。

月別到達目標

	日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標		日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標
4月	目をみて、挨拶ができるようにする。	3.5	家庭・地域と連携し挨拶を指導する。	3.5	4月	授業中の姿勢に気を付けさせる。	3.5	家庭・地域にも姿勢について啓発する。	3.5
5月	目をみて笑顔で気持ちよい挨拶ができるようにする。	3.5	児童が気持ちよい挨拶ができるように家庭を啓発し、地域と連携する。	3.5	5月	立腰を意識させ、授業中の姿勢に気を付けさせる。	3.5	家庭・地域にも、立腰や姿勢について啓発する。	3.5
6月	道徳の授業等を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようにする。	3.6	「わたしたちの道徳」を家庭・地域で活用し、責任ある行動を意識づける。	3.6	6月	柔軟運動や体力づくりに積極的に取り組みさせる。	3.6	家庭・地域とも連携して、柔軟運動や体力づくりに取り組ませる。	3.6
7月	道徳の授業等を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようにする。	3.6	「わたしたちの道徳」を家庭・地域で活用し、責任ある行動を意識づける。	3.6	7月	体力の向上を意識させ、柔軟運動や体力づくりに積極的に取り組ませる。	3.6	家庭・地域とも連携して、柔軟運動や体力づくりに取り組ませる。	3.6

評価

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

★月別実態調査(月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示) ★外部評価(保護者(参観日)、指導主事訪問等でのアンケート) ★いじめ調査(文科、帯広市、校内)など

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

★月別実態調査(月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示) ★外部評価(保護者(参観日)、指導主事訪問等でのアンケート) ★新体力テスト、全国体力・運動能力運動習慣等調査 など

